

スペイン

を知る50の体験



www.spain.info



目次



1	バルセロナで モデルニスモを満喫	4	13	リバモンタンのソモで波に乗る	15
2	アル・アンダルスの遺産、 コルドバのメスキータと グラナダのアルハンブラ宮殿	5	14	メノルカ島をサイクリングでめぐる	16
3	ビルバオのグッゲンハイム美術館で 前衛美術に浸る	6	15	エル・イエロ島で海底探検	17
4	マドリッドで芸術散策	7	16	ラ・パルマ島(カナリア諸島)で 天体観測	17
5	トレドのユダヤ人街で 細い路地に迷い込む	8	17	ランサロテ島のティマンファヤで 火山地帯を散策	18
6	二千年の歴史を持つ ローマ劇場で観劇	9	18	フォルメンテーラ島で ポシドニアを観察	18
7	アルタミラ博物館で 18,000年前にタイムスリップ	10	19	リベイラ・サクラをめぐる	19
8	ダリ・トライアングルで シュルレアリスムに遭遇	11	20	ナバーラ州イラティの森を散策	20
9	ブルゴス大聖堂を訪ねて ゴシック様式を知る	12	21	バスク海岸のジオパークで 断崖の散策と海上散策	21
10	マヨルカ島のドラック洞窟で クラシック音楽を堪能	13	22	セビージャの ビエナル・デ・フラメンコ	22
11	グラナダで スキーとビーチの両方を楽しむ	13	23	テネリフェ島のカーニバル	23
12	クルブ・ラ・マンガ(ムルシア県)で ゴルフとスパを満喫	14	24	マドリッドで ゲイ・プライド・フェスティバルを祝う	24
			25	サモラの聖週間を訪ねて あつい信仰心に触れる	25
			26	ウブリケを訪ねて 皮革バッグの手作りに挑戦	26



スペインを知る50の体験

産業・通商・観光省
発行：© Turespaña
制作：Lionbridge
NIPO: 086-17-059-4

無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。



27	グラシア通りで、セレブでラグジュアリーなショッピング	26	39	サンティアゴ巡礼の道に魅せられる	37
28	スペインのどこでも楽しめるタパスとピンチョス	27	40	ガリシアで椿の芳香に浸る	38
29	エクストレマドゥーラの農場で本場のイベリコ豚生ハム食する	27	41	パドールに宿泊して王族気分を満喫	39
30	ラ・リオハとラ・リオハ・アラベサでワイン醸造に触れる	28	42	プリッカー賞を通してスペインの現代建築を知る	40
31	サン・セバスティアンのミシュラン星付きレストランで食事	29	43	気球に乗って世界遺産都市を空から見る	41
32	バレンシア州の海が見えるレストランでパエリアを食べる	30	44	「ドン・キホーテ」の舞台となった場所をめぐる	42
33	アストゥリアスを訪ねてチーズとシドラ(りんご酒)を試す	31	45	スペインで映画の舞台となった場所を訪ねる	43
34	スペイン各地を旅して様々なタイプの飲食空間を訪ねる	32	46	のどかな環境でヨガ体験	44
35	カタルーニャのマシア(田舎屋)で食事を楽しむ	33	47	芝居仕立てのガイドングツアーで歴史に浸る	44
36	豪華列車トランスカンタブリコで北スペインをめぐる	34	48	スペインの最も美しい村々を訪ねる	45
37	バイクで銀の道を旅する	35	49	アンダルシアンホースの美しいダンスに魅せられる	46
38	モン・レベイ断崖の隘路から眺望を楽しむ	36	50	サラマンカ、文化とナイトライフを満喫できる街	47

バルセロナで モデルニスを満喫

モデルニスムに興味があるなら、是非バルセロナを訪ねてください。シャンプラ地区、特に「クアドラ・ドール」(黄金スクエア)として知られる一帯には、バルセロナ市内で最も多くのモデルニスモ建築が集中しています。そしてこの地域のいたるところで、バルセロナのモデルニスモを代表するアントニ・ガウディの精神を感じ取ることができます。彼の作品はいずれも印象的で見る者を魅了しますが、中でもサグラダ・ファミリア(聖家族教会)、グエル公園、ラ・ペドレラ、カサ・バジジョは見逃せません。

もちろん、ガウディの作品以外にも多くのモデルニスムの傑作を見ることがで

きます。リュイス・ドメンク・イ・ムンタネーが設計したサン・パウ病院とカタルーニャ音楽堂は、ガウディが手掛けたサグラダ・ファミリア同様、世界遺産に登録されています。おとぎ話の世界に迷い込んだ気分になりたいなら、1905年に建築家、ジュゼップ・プッチ・イ・カダファルクが造ったカサ・デ・ラス・プンシャス(別名、カサ・テラダス)に立ち寄ることをおすすめします。

締めくくりにはバルセロナ現代美術館を訪れてはいかがでしょうか。美術館となっているのはシャンプラ地区にある古い倉庫だった建物ですが、これ自体もモデルニスモ建築の作品です。





▲ コルドバのメスキータ

アル・アンダルスの遺産、 コルドバのメスキータとグラナダのアル ハンブラ宮殿

スペイン南部では、「千夜一夜物語」の世界に迷い込んでみましょう。コルドバ歴史地区の真ん中には、メスキータが何世紀もの深い眠りの中にあります。イスラム寺院であるメスキータ内部に入ると、無数の円柱が林立する中からキリスト教の大聖堂が現われて、驚ろかされることでしょう。メスキータを訪れた後は、その外にあって一般公開されているオレンジの中庭で一息入れましょう。

スペインにおける8世紀にわたるイスラムの繁栄を最もよく表しているのは、やはりグラナダのアルハンブラ宮殿でしょう。グラナダは当時、イスラム支配

のヨーロッパにおいて最も重要な政治中枢であり、貴族社会の中心でもありました。かつて王族やその臣下らの住居だったナスル朝宮殿に入り、いくつもの美しい中庭や噴水をめぐると、かの王朝の栄華と豪奢な暮らしぶりが偲べれます。噴水のあるライオンの中庭は宮殿の中で最も美しい場所のひとつです。重要な要塞としての役割を持っていたアルカサバは、このモニュメント全体の中で最も古い部分です。ベラの塔に登ると、アルハンブラ宮殿とグラナダの街の素晴らしい景色を見ることができます。

ビルバオのグッゲンハイム美術館で 前衛美術に浸る

カナダ人建築家フランク・O・ゲーリーが設計した前衛的デザイン建築のビルバオ・グッゲンハイム美術館では、現代美術を堪能できます。1997年に完成したこの美術館は、ビルバオ都市再生の最も重要なファクターとなっています。

美術館のほとんどの部分には、ダビッド・サーレ、チジータ、ジェフ・クーンズ、ルイズ・ブルジョワ、ロバート・ラウシェンバーグなどの作品が展示されています。

美術館に近づくと、ファサードに自然光が反射する色の移り変わりと、それが川面に反射する様にまず魅了されることでしょう。エントランスの前では、ジェフ・クーンズ作の花で造られた彫刻、「パピー」が出迎えてくれます。このモニユメントのデザインには大きな特徴がありますが、それはひとつたりとも平面が存在しないことです。





国立ソフィア王妃芸術センター

マドリッドで 芸術散策

たった1キロメートルほどの圏内で、絵画の過去、現在、そして未来を観賞することができます。それができるのは、マドリッドの「パセオ・デル・アルテ（芸術の散歩道）」と呼ばれるエリアです。世界でも重要な芸術コレクションを有する3つの美術館がこの地区にあります。

プラド美術館は、11世紀から18世紀までのスペイン絵画の充実したコレクションはもちろんのこと、フランドル絵画、イタリア絵画、ドイツ絵画などの傑作も多数、所蔵しています。エル・グレコ、ゴヤ、ティツィアーノ、ヴァン・ダイクやレンブラントなどの作品を観賞していると、時の経つのを忘れてしまいます。その他に鑑賞できる名作として、ベラスケスの「ラス・メニーナス」(Las Meninas)、ゴヤの「着衣のマハ」と「裸のマハ」(las

Majas)、ボスの「快樂の園」(el Jardín de las Delicias)などが挙げられます。

ティッセン＝ボルネミッサ美術館では、世界でも有数の個人コレクションを観賞することができます。18世紀の西洋絵画から19世紀と20世紀を代表する作品までを見ることができます。ここではモネ、ヴァン・ゴッホ、セザンヌ、クリューやカンディスキーなどの作品があなたを待っています。

現代美術の宝庫である国立ソフィア王妃芸術センターでは、ミロ、ダリ、タピエス、ファン・グリス、ルネ・マグリット、チジダなどの作品を観賞できますが、見逃せないのはやはりスペインの現代美術と近代史を象徴する作品、「ゲルニカ」(Guernica)でしょう。



トレドのユダヤ人街で 細い路地に迷い込む

3つの文化が交錯した都市、トレド。何世紀にもわたって西洋のユダヤ人たちの宗教的および政治的な中心地であった街を訪ねてみませんか。細い路地をたどって歩くと、ユダヤ人たちがこの街で手にした権力と影響力の大きさを感じ取ることができます。

ロス・レジェス・カトリコス通りには、トレドのユダヤ人街を代表する2つのムデハル様式のモニュメントを見ることができます。柱が印象的なシナゴグ、サンタ・マリア・ラ・ブランカ教会（13世紀）とセファルディ博物館にもなっているシナゴグ、エル・トランジト教会（14世紀）です。

また、そこからすぐ近くのトラベシア・デ・ラ・フデリア通りには、「ユダヤ人の家」もあります。中庭には石膏細工による装飾が多数、保存されているほか、地下にはユダヤ教の沐浴場である「ミクバ」があります。

二千年の歴史を持つ ローマ劇場で観劇

毎年、夏になるとメリダのローマ劇場(バダホス県)では国際古典演劇祭が開催され、この神秘的な魅力にあふれた場所は紀元前1世紀に遡り、威厳に満ちた本来の姿をよみがえらせます。何世紀もの間、地下に埋もれていたこのローマ劇場は、20世紀初頭に文字通り地中から掘り出されました。ヨーロッパで

最も保存状態の良いローマ劇場に腰を降ろし、時を遡る旅に出ましょう。

この劇場と円形競技場はメリダの遺跡群の一部で、スペインで最も大規模かつ最も重要な遺跡としてユネスコ世界遺産に登録されています。



アルタミラ博物館で 18,000年前にタイムスリップ

カンタブリア州の美しい村、サンティジャーナ・デル・マルからほんの2キロメートルのところに、スペイン洞窟壁画の至宝、アルタミラ洞窟があります。18,000年以上も前に描かれた壁画はユネスコ世界遺産に登録されています。

本物のアルタミラ洞窟は保存上の理由から入場が制限されていますが、心配はいりません。アルタミラ博物館にある「ネオクエバ」と呼ばれる実物大の洞窟のレプリカを見学することができます。このレプリカ洞窟の内部で最もインパクトのある場所が「多色壁画の間」で、長さ18メートル、幅9メートルの天井と壁面に野牛、馬、イノシシ、鹿などを表す30以上の壁画が描かれています。



ダリ・トリアングル で シュルレアリスム に遭遇

奇才ダリの作品を理解するには、彼が生涯において住処とした3つの場所、プボール、ポルリガッツ、フィゲラス（いずれもジローナ県）を結ぶダリ・トリアングルを訪れるのが近道です。

ダリが生まれ、亡くなった場所、フィゲラスにはダリ劇場美術館があります。まず、きらびやかな外観に目を奪われ、中に入るとシュルレアリスムの天才による様々な作品に遭遇します。ダリの生家、サン・ペレ教会、ホテル・デュランなど、この芸術家ゆかりの場所は街の至る所に見受けられます。

フィゲラスからカダケスへ進み、ポルリガッツにあるダリの家に向かいましょう。1930年から、最愛の妻であり、彼にとっての女神でもあったガラが亡くなる1982年まで、ダリはこの場所を生活と創作活動の拠点としていました。

トリアングルの最後の地点であるプボールでは、天才画家の最後のアトリエであり、彼の愛した女神の霊廟でもある「ガラ・ダリ城」を訪ねましょう。





ブルゴス大聖堂を 訪ねて ゴシック様式を知る

ブルゴスの大聖堂は、スペインのゴシック様式を代表する建築物で、1984年にユネスコの世界遺産に登録されています。

免罪の門として知られるファサードでは、ゴシック様式のアーチに囲まれ、身廊に光を届ける大きなバラ窓が目を引きます。身廊内部からこの美しいステンドグラスを觀賞することができます。サルメンタルの門には美しい彫刻群があり、使徒たちと福音者たちに囲まれたパンクラトール(全能者)の像が見えます。

大聖堂内部の丸天井は、スペインのすべてのルネサンス建築において最も壮麗なものとされています。このドームの下には、「勇者エル・シド」こと、ロドリゴ・ディアス・デ・ビバルと其の妻、ドニャ・ヒメナが埋葬されています。このモニュメントの建築的な重要性はもちろんのこと、付随する大聖堂博物館には絵画、彫刻、古文書、古写本などの他に類のないコレクションも所蔵されています。

マヨルカ島のドラック洞窟で クラシック音楽を堪能

5千年以上の歴史を持つ地下の洞窟でクラシック音楽を聴くなんて想像できますか？マナコルにあるドラック洞窟ではそんな体験ができます。

互いに繋がっている4つの洞窟には、様々な形をした数千もの巨大な鍾乳石や石筍があります。

洞窟内部には世界最大級の地底湖、マルテル湖があり、湖上のボートからクラシック音楽のミニコンサートを楽しむことができます。洞窟は素晴らしい音響効果を発揮します。

グラナダでスキーとビーチの両方を楽しむ

グラナダのシエラ・ネバダスキー場ではシーズンのほとんどが快晴に恵まれるので、遙か眼下に海を見ながらスキーを楽しむことができます。400名を超えるスキーインストラクターが待っています。スキー場は、ユネスコ生物圏保護区に指定されているシエラ・ネバダ自然公園の中にあります。

午前中にスキーを楽しんだ後、コスタ・デル・ソルとアルメリアの間にあるコスタ・トロピカルへ行ってビーチでのんびり過ごすことも可能です。海岸部はその立地のおかげで、一年中、穏やかな気候に恵まれています。この地域にあるアルムニェカル、サロブレニャ、モトリルなどの町は、美しいビーチと独特の景観であなたを魅了することでしょう。





クルブ・ラ・マンガ(ムルシア県)で ゴルフとスパを満喫

▲ ラ・マンガ・デル・マル・メノール
ムルシア県

ムルシア地方の恵まれた気候のおかげで、ラ・マンガでは一年中ゴルフを楽しめます。州都から車で15分以内の距離に、欧州最高クラスのもサ・ゴルフクラブやモリナ・デ・セグラにあるアルトリアル・ゴルフクラブをはじめとするいくつものゴルフコースがあります。

トーレ・パチェコの町にある、町と同名のゴルフクラブは、地中海沿岸部で唯一の夜間でもプレーできるコースで

す。その他にも、ロス・ベロネスにあるラ・マンガ・クラブやフエンテ・アラモにあるラ・アシエンダ・デ・アラモなどのコースがあります。

ゴルフを楽しんだ後は、アルチェナやフォルトゥナ＝レアナのスパへ立ち寄って、リラックスしてはいかがでしょうか。あるいは、体の芯から癒されるサン・ペドロ・デル・ピナタールの泥浴でユニークな体験を試してみませんか。

リバモンタンのソモで 波に乗る

サーフィンを楽しむ場所を探しているなら、カンタブリア州のリバモンタン・アル・マールがおすすめです。細かい砂のビーチと最高の風に恵まれているこの地域は、サーフィン愛好家にとってまさに天国です。リバモンタン・アル・マールは2012年にスペイン初のサーフィン保護区に認定されました。

ソモの海は一年中、波に恵まれ、サーフィンの初心者がレッスンを受けられるように海辺にはそのためのスクールもあります。また、海岸沿いの遊歩道からはサンタンデル湾を見渡すことができます。

レベルなど関係ありません。
ロレド、ラングレ、ガリサノなど、この一帯の他の町でもどんなレベルのサーファーでも楽しめる波が待っています。

メノルカ島 をサイクリングでめぐる

バレアレス諸島でのサイクリングは最高です。メノルカ島には、かつての田舎道が自転車用に整備され、案内パネルが設置されているいくつかのルートがあります。

緩やか起伏が続くこの島の穏やかな地形はサイクリングに最適です。エル・カミ・デ・カバルスのルートは、島を一周する187kmのコースをたどりながら、あちこちで美しい入り江の景色を楽しむことができます。長いコースですが、数日かけて周ってもよしルートの一部だけを選んでもいいでしょう。

他にも、20分から2時間くらいで回れる短いルートもあるので、事前の計画なしでも気軽に楽しむことができます。いくつかの例を挙げてみましょう。シウタデラ・フェリエスの16.5 kmのルート、フェリエス・エス・メルカダルの15.5 kmのルート、マオン・エス・カステルの8 kmのルート、シウタデラ・プンタ・ナティの4 kmのルートなどです。

島中のルートに関する情報は観光局で入手できます。マウンテンバイクを持参していなくても大丈夫、ほとんどの観光地でレンタルされています。





エル・イエロ島で 海底探検

群れを成して泳ぐ魚、カメ、エイ、イルカなどを見たいなら、カナリア諸島のひとつ、エル・イエロ島がおすすめです。ユネスコの生物圏保護区に指定されているこの島は、天然のプールと澄み切った水に恵まれた、スキューバダイビングに絶好の場所です。様々なセンターやスクールがあるので、スキューバダイビングに初めて挑戦する人から技術を磨きたい人まで、誰でも楽しめます。

ラ・レスティンガの村は、スペクタクルな海洋保護区、マール・デ・ラス・カルマスへの入口となっています。ダイビングに加えて写真も趣味なら、水中写真コンテスト、「Open Fotosub」に参加して、他のダイバーと腕を競ってみるのもいいですね。海を満喫して陸に上がったら、夥しい数の噴火口が見渡せるユニークな眺望を楽しみましょう。ぽっかり口を開けたものが500カ所、溶岩で覆われたものが300カ所もあります。

ラ・パルマ島ほど美しい天空を堪能できる場所は、他にはほとんどありません。独特の地形と気候条件のおかげで、この島は天体観測に絶好の地となっています。

島全体には自然が創った、天体観測に適した場所が13カ所もあり、天体観測展望台ネットワークを形成しています。そして、ラ・パルマ島の中心にあるラ・カルデラ・デ・タブリエンテ国立公園には、直径8キロメートル、深さ2,000メートルにもおよぶ巨大なカルデラが広がっています。ここにはエル・ロケ・デ・ロス・ムチャチョス天文台があり、事前にウェブサイトから予約をすれば、入場することができます。

ラ・パルマ島 (カナリア諸島)で 天体観測

ティマンファヤ国立公園を訪れると、まるで月にやって来たように感じます。ここがなぜスペインで2番目に入場者の多い国立公園であるかも、納得できるでしょう。25もの火山から成るこの島は、18世紀から19世紀にかけて起こった数々の噴火によってできた特異な地形が、まるで月面の景色を見ているように感じさせます。ガイドツアーで公園内をめぐる11キロメートルのルート、ルタ・デ・ロス・ボルカネスがあります。ルートの途中では火山の麓をヒトコブラクダで散策することもできます。

公園の中心部に来ると、レストランのすぐそばに、観光客に人気のいくつもの間欠泉を見ることができますが、この間欠泉は足元でマグマが活動していることの証です。

ルートの最後は、公園内の火山のひとつで、天然の展望台となっているモンタニャ・ラハダへ登りましょう。流れ出し

ランサロテ島の ティマンファヤで 火山地帯を散策



た溶岩が海岸線までたどりついて創りだした驚くべき景色を見ることができます。

フォルメンテーラ島で ポシドニアを観察

地中海最大のポシドニア海中草原が、フォルメンテーラ島にあります。地中海固有のこの海洋植物のおかげで、この島の海はターコイズブルーで透明な美しさを保っています。島内のセス・イジェテス、レバンテ、ミグホルン、カロ・デス・モルトウ、エス・トゥルカドールなど

の海岸でポシドニアを見ることができます。セス・サリネス自然公園の中には、ポシドニアを見られる海岸をめぐるツアーがあり、申し込むことができます。イビサ島とこの島のポシドニア海中草原は、その良好な保存状態から、ユネスコ世界遺産に登録されています。

リベイラ・サクラをめぐる

ガリシア州のルゴ県南部からオウレンセ県北部にかけての一带、リベイラ・サクラ地方は、カベ、シル、ミーニョの3つの川の流域から成るワインの生産地です。ここではシル川渓谷など自然が創り出したスペクタクルな景観を楽しむことはもちろん、深い森の中に点在する18にもおよぶ中世の修道院を訪ねることもできます。これらの修道院のひとつに宿泊することもできます。ノゲイラ・デ・ラムインにあるサン・エステバン・デ・リバス・デ・シル修道院は現在パラドールとなっているからです。パラドールの近くにはこの地方で最も有名な展望スポット、バルコネス・デ・マドリードがあります。

ここからモンテデラモまで足をのばして、サンタ・マリア修道院を訪ねましょう。タレイリゴでは、岩を掘って造られた礼拝堂、サン・ペドロ・デ・ロカスに圧倒されることでしょう。

また、フェレイラに立ち寄って、マドレス・ベルナルダス修道院や、現在は廃墟となっているサン・パイオ・デ・アベラダ修道院を訪ねることもできます。旅の終りは、中世に起源を持つ趣のある町、モンフォルテ・デ・レモスで締めくくりましょう。





ナバーラ州の イラティの森を 散策

イラティ川の上流、アエスコアとサラサールの2つの谷にまたがる一帯に、ブナの木とモミの木から成る17,000ヘクタールにもおよぶ広大な森林、**イラティの森**があります。欧州において環境的価値が高く、保存状態の良い森林の中でも最大規模を誇るこの森を歩いてみませんか。

秋になると赤や黄色に色づいた木々が、まるでおとぎ話のような風景を創り出します。この季節には、発情期を迎えた鹿が出す「ベレア」と呼ばれる独特の「鳴き声」を耳にすることもできます。冬には、**シエラ・デアボディ**でクロスカントリースキーを楽しむことができます。そして春は、トレッキングやマウンテンバイクでのサイクリングに最適な季節です。

バスク海岸のジオパークで 断崖の散策と海上散策

ジオパークに指定されているバスク海岸は、カンタブリア海とバスク山脈に挟まれた一帯、ムトゥリク、デバ、スマイアなどの町がある地域で、6千年以上も前にできた断崖が13キロメートルも続いています。延々と続く断崖の上を歩くもよし、船に乗って海上から望むもよし、時間があればその両方を試してみるのもいいですね。

石灰岩でできた山脈から成るジオパークの内陸部には、周りを山に囲ま

れ、古くからの伝統や景観をそのまま残す場所がひっそりと存在しています。観光に便利なガイドツアーも催行されています。地層の中に黒色の薄い層が見えますが、これは小惑星の衝突のインパクトの凄さと、それによる恐竜の消滅を物語っています。

また、馬を描いた壁画群が素晴らしいエカイン洞窟へも、是非、立ち寄ってみてください。ここは世界遺産に登録されています。





写真: Antonio Aceado

セビージャのビエナル・デ・フラメンコ

フラメンコギターに込められた思い、踊りが持つ力強さと表現力、歌からほとぼしり出るパッション。2年に1度セビージャで開催されるユニークなイベントで、フラメンコの持つ不思議な力に魅了されてみませんか。それが、ビエナル・デ・フラメンコです。ユネスコ世界無形文化遺産に登録されているスペインを代表する芸術、フラメンコ。そのフラメンコに関連する最大の国際イベントがこのビエナルです。

セビージャ市内の主要な劇場やアルカサルなどの由緒あるモニュメント、あるいは旧トリアナ・ホテルのパティオのよ

うなフラメンコの起源ともいえる場所など、イベントは様々なスペースで開催されます。これらは、著名なアーティストたちと新進気鋭の才能ある若者たちが共に集う場となります。

伝統的なフラメンコから、実験的または前衛的なもの、あるいは破天荒なものまで、あらゆるタイプのフラメンコを知るために絶対見逃せないイベント、それがビエナルです。

テネリフェ島の カーニバル

リズムと色彩と奔放さがあふれるスペクタクル、サンタ・クルス・デ・テネリフェのカーニバルを体験してみませんか。スペインのお祭りの中で最も「ブラジルの」なこのカーニバルは、世界で最も人気のある祭りのひとつです。陽気で奔放で想像力あふれる祭りが15日間にわたって繰り広げられ、この街は人で溢れ、世界中から何万もの観光客が訪れます。

祭りで見逃せないイベントのひとつがカーニバルの女王のコンクールで、候補者たちは総重量が100キロを超えるものもある豪華な衣装を身に着けて、華やかに魅力を振り撒きます。もうひとつ見逃せないのが、祭りの始まりを告げるカーニバル告知パレードでしょう。たくさんのミュージックバンドが奏でるリズムに合わせて、何千もの人々が通りに繰り出し、すべてを忘れて陽気に何時間も踊り続けます。

1週間以上にわたって街にはお祭りの高揚感があふれ、カーニバルの火曜日になると、見る者すべてを魅了するパレード、デスフィレ・デル・コソで最高潮に達します。翌日、水曜日に行われる鯛の埋葬は祭りの終わりを告げるものですが、カーニバルを象徴する「鯛」が葬儀用の棺に入れられて街を練り歩き、最後に炎に包まれます。



マドリードで ゲイ・プライド・フェスティバルを祝う

6月最後の週にマドリードを訪ねれば、世界的に有名なゲイパレード、オルグジョ・ゲイ・デ・マドリードを体験できます。街の中心地にはレインボーカラーの旗があふれ、あらゆる性的嗜好が解放される楽園となります。近くで実感したいなら、マドリードで最もLGBTが認知されているエリア、チュエカ地区へ行ってみましょう。ここではライブコンサートや様々な文化イベントが開催されます。シベレス広場にあるマドリード市庁舎はカラフルなライトでイルミネー

ションが施され、世界中から訪れる人々を歓迎します。2017年にはマドリードでワールドプライドが開催され、世界中から100万人以上が集まりました。土曜日には、たくさんの山車が繰り出すカラフルで陽気なパレードでイベントは最大の盛り上がりを見せます。例年はその後、アルカラ門でコンサートが開催され、スペインの首都で開催される祭りの中で最もメッセージ性の強いこのイベントは幕を閉じます。



サモラの聖週間を訪ねて あつい信仰心に触れる

聖週間はスペインで最も厳粛で感動的な宗教行事ですが、中でもサモラ(カスティーリャ・イ・レオン州)では非常に独特な形で行われます。プロセシオンと呼ばれる山車が練り歩くパレードは、昼と夜でそのコントラストが際立っています。深夜や未明に信徒団体が山車を担いで練り歩くプロセシオンは静謐で瞑想的である一方、日中のプロセシオンは音楽に伴われ光に溢れています。サモラの聖週間は、信仰の有無に関わらず、見る者を感動させる行事です。

聖水曜日に「傷ついたキリスト」像を載せた山車が練り歩くプロセシオンは、ほとんどこの町の伝説となっています。

「横たわるイエス・キリスト」像のプロセシオンを行う信徒団体は聖木曜日の夜半過ぎに教会を出発し、旧約聖書にある詩を基にした罪深き者たちの許しを請う聖歌、「ミセレレ」を歌いながら練り歩きます。深夜の町にはその神聖な歌声が響き渡ります。そして、聖金曜日、「ラ・コングレガシオン」のプロセシオンが始まり、「受難の道」像の山車が練り出す時、あるいはアベニダ・デ・ロストレス・クルセス通りですべてのプロセシオンの信徒が「ソレダ(孤独)の聖母」像の山車に対して敬意を表する時、この宗教行事の感動は最高潮に達します。締めくくりには、聖週間博物館を訪ねることをおすすめします。



ウブリケを訪ねて 皮革バッグの手作り りに挑戦

ウブリケ山地とグラサレマ山地の間に、白い村々のルートの中でも重要な場所のひとつとなっているウブリケの村があります。村の路地を歩くと、独特の趣ある建築方法で造られた民家や古くから伝わる手作りの皮革製品に遭遇することでしょう。古い歴史をもつカプチン派修道院を訪ねると、その中に皮革博物館があります。回廊を歩いて皮革製品の製造プロセスに使われてきた機械類の変遷を見ることができ、手作り革工房を模して造られたスペースで簡単なバッグ作りに挑戦することもできます。

博物館は講演、コンサート、演劇など様々なイベントが開催される場にもなっています。また、ウブリケを訪れたら、国の文化財に登録されている旧市街を見ずに帰ることはできません。

贅沢な買い物を楽しみたいなら、行くべき場所は**グラシア通り**でしょう。バルセロナ市内の目抜き通りのひとつ、グラシア通りは、一流ブランドのほとんどが店舗を構えているのはもちろんのこと、モデルニスモ建築の傑作の数々を観賞することもできます。かつて、このエリアの美しい建物は大手の銀行が占めていましたが、現在ではそれらに代わって広くて豪華なブランドショップや流行の先端を行くレストランやカフェが入っています。

ショッピングの後は、**香水博物館**に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。ダリがデザインしたボトル、マリー・アントワネットが使ったとされる香水、あるいは様々な古代文明で使われていた香水入れなどを見ることができます。豪華なホテルに宿泊して、パーソナルショッパーのサービスを利用するのもいいですね。贅沢を楽しみましょう！

グラシア通りで、 セレブでラグジュアリーな ショッピング





エクストレマドゥーラの農場で本場のイベリコ豚生ハム食する

「イベリコ豚生ハム／エクストレマドゥーラの農場」ルートをとれば、イベリコ豚の生ハムを生産している魅力あふれる村々を訪ねることができます。

スペイン・グルメの王様とも言える生ハムの原料、イベリコ豚を整備された環境の屋外で飼育している農場の広さは百万ヘクタールにもおよびます。

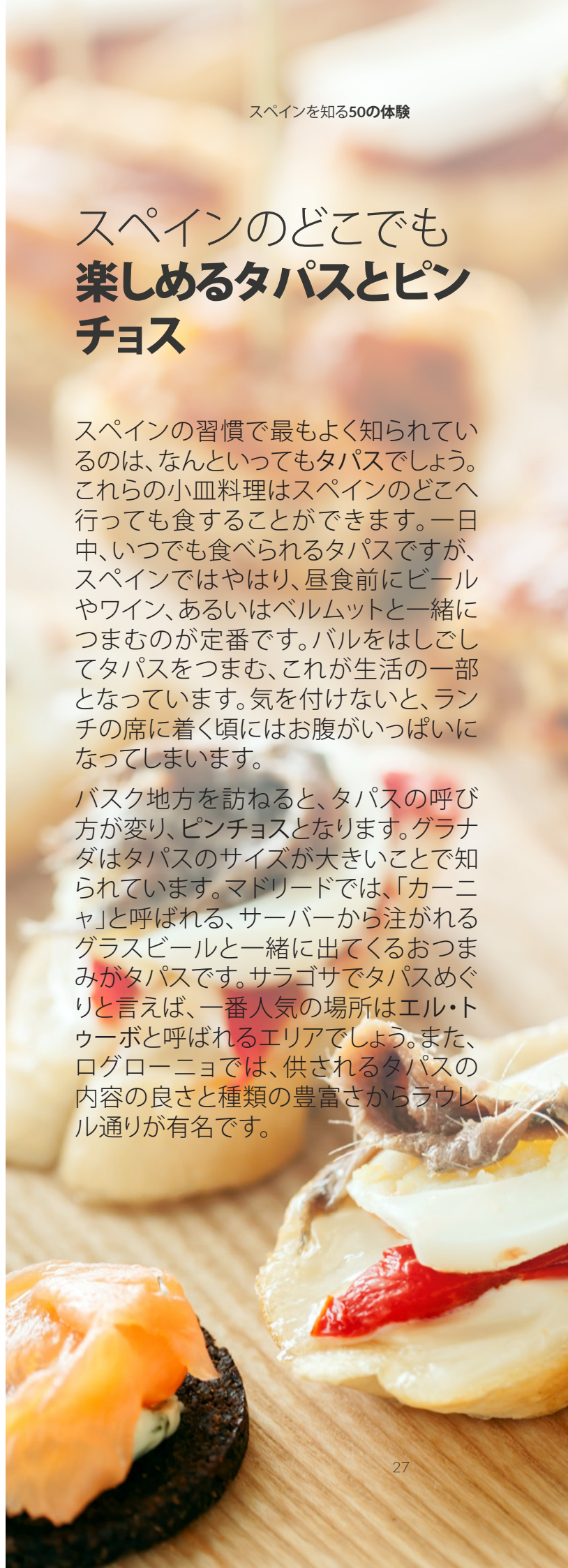
バダホス県の33の村々をたどる「ハモン・デ・ラス・シエラス」のルートやカセレス県の19の村々をたどる「モンタンチェス」のルートなどを訪ねれば、この地方で生産される最高の生ハムを試食することができます。

これらのルートでは、美味しい生ハムを堪能できるだけでなく、歴史ある村々を散策したり、農場を訪ねて生ハム作りの様子を視察したり、あるいは生ハムカッティング講座に参加することもできます。

スペインのどこでも楽しめるタパスとピンチョス

スペインの習慣で最もよく知られているのは、なんといってもタパスでしょう。これらの小皿料理はスペインのどこへ行っても食することができます。一日中、いつでも食べられるタパスですが、スペインではやはり、昼食前にビールやワイン、あるいはベルムットと一緒につまむのが定番です。バルをはしごしてタパスをつまむ、これが生活の一部となっています。気を付けないと、ランチの席に着く頃にはお腹がいっぱいになってしまいます。

バスク地方を訪ねると、タパスの呼び方が変わり、ピンチョスとなります。グラナダはタパスのサイズが大きいことで知られています。マドリードでは、「カーニャ」と呼ばれる、サーバーから注がれるグラスビールと一緒に出てくるおつまみがタパスです。サラゴサでタパスめぐりといえば、一番人気の場所はエル・トゥーボと呼ばれるエリアでしょう。また、ログローニョでは、供されるタパスの内容の良さと種類の豊富さからラウレル通りが有名です。





▲ 「ラ・シウダ・デル・ビノ」
エルシエゴ

ラ・リオハとラ・リオハ・アラベサで ワイン醸造に触れる

スペインのワインを試したいなら、世界で最もよく知られているワイン原産地呼称のひとつ、ラ・リオハを訪ねましょう。ワインが眠る樽に囲まれて食事を楽しむ、ワイナリーを訪ねてテイスティングに挑戦する、ワイナリーホテルに宿泊する、あるいはワインと料理の完璧なマリージュを楽しんだ後にワインセラピーでリラックスする、これらはワインを生むこの地が提供する多様なアクティビティーのいくつかです。この地方には500を超えるワイナリーがあり、そのうちの80ほどがワイナリー見学を受け入れています。

バスク州に入るとラ・リオハ・アラベサのワイン生産地となります。この地方では、ワインの新たな大聖堂とも言えるような前衛的な建築で造られたいくつものワイナリーを見ることができます。ラグアルディアにあるイシオス・ワイナリーは有名な現代建築家、サンティアゴ・カラトラバのデザインによるものである一方、エルシエゴにあるワイン複合施設「ラ・シウダ・デル・ビノ」はフランク・ゲーリーの設計によるものです。これらの敷地内には、スパやリラックス空間など様々な体験ができる施設もそろっています。

サン・セバスティアンの ミシュラン星付きレストランで食事

ちょっと贅沢な食事を楽しんでみませんか？そんな時、最適な場所はなんといってもサン・セバスティアンでしょう。スペイン食文化の新しい時代を切り開いた偉大なシェフたちは、活動の場として北スペインのこの街とその周辺を選びました。数々の賞を受賞したレストランでは、インスピレーションあふれる洗練された料理があなたを待っています。

いずれも個性豊かなレストランですが、具体的な名前を挙げるとすれば、ファン・マリ・アルサック氏のレストラン「アルサック」、イゲルド山からカンタブリ

ア海を見渡すことができるペドロ・スビハナ氏のレストラン「アケラーレ」、国際会議場にあり、街のシンボルであるスリオラ橋を眼下に望むマルティン・ベラサテギ氏のレストランなどがあります。

その他にも前衛的な創作料理の世界では、ダニエル・ロペス氏の「ココチャ」やアンドニ・ルイス・アドゥリス氏の率いる「ムガリッツ」が奇抜な創作料理であなたを魅了することでしょう。

「風の櫛」(PEINE DEL VIENTO)
サン・セバスティアン、ギブスコア県(バスク州)



バレンシア州の 海が見えるレストランでパエリアを食べる

地中海の風を肌を感じながら、美味しい白ワインと共にパエリアに舌鼓を打つ、これこそが、スペインを「生きる」体験でしょう。バレンシアでは、港およびラス・アレナスやラ・マルバロサなどの海岸の周辺がパエリア発祥の地で、海を見渡すことのできる魅力的なレストランがいくつもあります。ここで、世界的に有名なスペイン料理、パエリアを是非、堪能してください、

では、どんなパエリアを注文したらいいでしょう？本物のバレンシア風パエリアは米にウサギ肉、巻貝、鶏肉、土地名産の豆、そしてサフランを加えて作りますが、その他にも色々なパエリアがあります。魚介パエリア、ミックスパエリア（肉と魚介）、イカ墨の黒いパエリアなどなど…自分の好みで選べます。

土地の人の様に語りたなら、パエリアとは米料理を作る鍋のことであり、鍋の底に付いた焦げた米のことをバレンシア語でソカラットと呼ぶことは知っておかなければなりません。ソカラットが一番おいしいと言う人もいます。さあ、召し上がれ！





アストゥリアスを訪ねてチーズとシドラ(りんご酒)を試す

アストゥリアスに行ったら、シドラと一緒に美味しいチーズを食べましょう。地元の人たちと同じ体験をしたいなら、伝統あるケセリア(チーズ製造所)やラガール(シドラ醸造所)を訪ねることです。チーズ好きな人にとってスペインのこの地方はまさに天国です。40種類以上ものチーズがありますが、中でも有名なものとしてアフエガル・ピトゥ、ガモネウ、カブラレスなどが挙げられます。チーズ製造所の中には、ガイド付ツアーを提供している所もあります。カブラレス地方では、世界有数のブルー

チーズであるカブラレスチーズを自然の洞窟を利用して製造していますが、いくつかの洞窟は中を見学することもできます。これらの洞窟を訪ねて、チーズの試食をすると共に、ピコス・デ・エウロパという比類ない環境の中に生きる羊飼いの暮らしを垣間見てはいかがでしょう。

ラガールとは、アストゥリアスの典型的な飲み物でリンゴから造られる酒、シドラの醸造所のことです。ここでは広口のグラスでシドラを飲みます。「エスカンシアール」に挑戦しましょう。シドラを注ぐ作法をこう呼びますが、片方の手で瓶を持ち、届く限り高い位置から、もう一方の手でできる限り低い位置に持ったグラスに、シドラを注ぎます。簡単ではありませんが、間違いなく面白い体験になるはずです。



スペイン各地を旅して 様々なタイプの飲食空間を訪ねる

スペインのデリカテッセンや世界中の美味しい料理をユニークな環境の中で味わいたいと思いませんか?かつて市場や映画館や工場だった空間を再生して創られたガストロスペース(飲食空間)で食を楽しむ、そんなユニークな体験をしてみませんか。美味しい料理を堪能するだけでなく、音楽を聴いたり、展覧会を見たり、テイスティングをしたり、あるいはワークショップに参加したりできる様々な飲食空間があります。

そんな場所のひとつ、プラテア・マドリードはきっとあなたに驚きを与えることでしょう。マドリードの中心地にあり、ヨーロッパで最大規模(6,000m²)を誇るこのガストロスペースでは洗練されたタパスやミシュランの星を獲得したシェフの料理を味わうことができます。この他にもマドリード市内にある、旧市場を斬新な飲食空間として再生させたサン・ミゲル市場やサン・アントン市場も見逃せません。

モデルニスモ建築のガレージを再生させた空間、エル・ナショナルで生牡蠣をつまみにカバを飲んではいかがでしょう。ここでは今、バルセロナの食のトレンドにおける注目スポットのひとつとなっています。ここではレストラン1軒、デリカテッセンを提供するスペース4ヶ所、ビール、ワイン、カバ、カクテルにそれぞれ特化したドリンクカウンターが4ヶ所あり、あなたを待っています。バルセロナのランブラの真ん中にはスペインを代表する市場のひとつ、ラ・ボケリアがあります。

トレドのサン・アグスティン市場では、スペイン料理の作り方を教わることもできれば、ガラス張りの素敵なテラスでカクテル片手にのんびり過ごすこともできます。ビルバオを訪ねたら、ラ・リベラ市場には是非、立ち寄ってください。ライブ演奏を聴きながら洗練されたピンチョスやバスクの伝統料理を楽しむことができます。

カタルーニャのマシア(田舎屋)で 食事を楽しむ

携帯電話をオフにして、スペインで最も美味しい料理のひとつ、カタルーニャ料理を楽しむ準備をしましょう。手の込んだ装飾、石造りのどっしりとした壁、そして最高の郷土料理、マシアは他にないユニークな環境で食事を楽しむのに最適な場所と言えるでしょう。

バルセロナ市の芸術遺産に指定されている11世紀の古城で自然に囲まれながら、あるいはモンセー自然保護区の中で、マシアの食事を堪能してみませんか。いずれのマシアを訪ねても、その地域で採れた素材を使って伝統的なレシピで作られた食事を味わうことはもちろん、その場所が持つ豊かな歴史を感じることもできます。



豪華列車トランスカンタブリコで 北スペインをめぐる

すべてを忘れて、列車の窓から見えるグリーンスペインの景色を楽しみましょう。レオンの大聖堂、サン・セバスティアンにある彫刻「風の櫛」(Peine de los Vientos)、ユネスコ世界遺産に登録されているロス・ピコス・デ・エウロパ国立公園など、ユニークな場所に立ち寄ります。

鉄道車両の至宝とも言える豪華な列車は、細部に至るまでデラックな旅のための配慮がなされています。バル、ダ

ンスフロア、デラックスなスイートルーム、専用浴室付きのグラン・クラセルーム、 hidroサウナ、hidroマッサージ、スチームバスなどなど。

豪華列車トランスカンタブリコはあなたを自然、文化そして美食の旅へと誘います。移動中は毎日、車内にてビューッフェ形式あるいはア・ラ・カルタにて美味しい朝食が提供されます。また、旅する土地の最高級レストランで昼食や夕食を取ることもできます。

世界でもトップクラスの豪華な観光列車、**トランスカンタブリコ**に乗って北スペインをめぐるみましょう。きっと素晴らしい体験になることでしょう。

▼ 豪華列車トランスカンタブリコ
エbro川のダム



バイクで 銀の道を旅する

ヘルメットを着けて準備ができれば、スペインで最も美しいバイクツーリングルートの旅に出かけましょう。ヒホンからセビージャまで、いくつもの地方を通り抜ける銀の道ルートです。スペインの北と南を結ぶこのルートは、ローマ時代に造られた道に沿ってありますが、その起源はもっと古く、青銅時代末期まで遡ると言われています。

バイクの走行総距離が800キロメートルになるこのルートには2つの選択肢があります。近代的な高速道路A-66号線を快適に走行することができる一方、旧道のN-630号線を行くと制限速度も低くなり走りの快適さも落ちますが、周りの景色を楽しみながら旅することができます。このルートでは、山あり、川あり、平地ありと様々な地形を横切っていきます。また、ルートはサラマンカ、カセレス、メリダなどを通過しているので、世界遺産に登録されているこれらの魅力的な中世の街に立ち寄ることもできます。

思いのまま好きな道をたどり、自分にあったスピードで走りましょう。アドバイスをひとつ：「**モト・ビア・カード**」には宿泊施設の料金割引などの特典があるので、是非、利用しましょう。





モン・レベイ断崖 の隘路から 眺望を楽しむ

登山靴を履いて、スペインで最もスペクタクルな断崖のひとつ、モン・レベイ渓谷の断崖に掘られた隘路からの眺めを見に行きましょう。ウエスカ県(アラゴン州)とレリダ県(カタルーニャ州)の県境に位置するこの渓谷は、道路も鉄道も電線さえも通っていない、スペインでも数少ない手つかずの自然が残っている場所のひとつです。この渓谷の眺めは実に壮観です。ほぼ垂直にそびえる断崖の高さは最大500メートルにまでおよび、渓谷の幅はたった20メートルという所もあります。

渓谷から40メートルの高さがあるサン・ジャウマの断崖に架かる吊り橋やモンファルコの空中歩道を歩いてみませんか。大地と空がものすごく近くに感じることでしょう。この機会を逃す手はありません。

サンティアゴ巡礼の道 に魅せられる



リュックを肩にかけて、準備はできましたか。助け合い、自己克服、スポーツ精神、文化交流、自然とのふれあい、そういったものすべてを体験できる、生涯忘れ得ないものとなる旅に出かけましょう。サンティアゴ巡礼の道を歩くために世界中から数十万もの人々がやって来ます。ルートは様々でも目的地はひとつ、そんな巡礼道をたどって、一味違う形で北スペインを旅してみませんか。目的地はガリシア州、使徒聖大ヤコブの墓があるサンティアゴ・デ・コンポステラの大聖堂です。

日常を忘れ、世界中からやって来た巡礼者たちと同じ道をたどり、同じ宿に泊まって、感動を共有しましょう。





ガリシアで 椿の芳香に浸る

潇洒なパソ(旧荘園領主邸)で椿の花に囲まれながらガリシアの白ワイン、アルバリーニョを味わってみませんか。歴史ある庭園を歩けば、シャネルがエレガンスの象徴として選んだこの花の美しさに魅了されてしまうでしょう。椿の花が紡ぐルートは、ポンテベドラ県のリアス・バイシャスにあるビラガルシア・デ・アロウサから始まり、ビゴ県にあるいくつかの壮麗な椿の庭園まで続きますが、これらの庭園ではガリシアに生息する8,000を超える種類の椿を観賞することができます。

ビラガルシアにあるパソ・デ・ルビアネスでは、聖クララ会の修道女の方たち

が作る石鹸が売られている小さなお店に立ち寄ってみませんか。また、サルネス地方にあるパソ・デ・リバドゥミアは、いくつもの映画やテレビドラマのロケ地となった場所です。なお、この地で造られるアルバリーニョは高く評価されています。ビゴに着いたら、街の高台に建つパソ・デ・オ・カストロを訪ねましょう。街並みと港、そして入り組んだ海岸線「リア」の眺望を楽しむことができます。

これらは、椿の花のルートにある町や村のほんの一部に過ぎません。

パラドールに宿泊して 王族気分を満喫

スペインでの宿泊場所にパラドールを選べば、忘れられない体験ができます。古城、修道院、宮殿など、何世紀にもおよぶ歴史を持つ場所で夜を過ごすしてみませんか。かつて王様やその一族が眠った同じ場所で、あなたも眠ることができるのです。

中世の城に興味があれば、シウダ・ロドリゴのパラドール(サラマンカ県)やシ

グエンサのパラドール(グアダラハラ県)に泊まるといいでしょう。宮殿に泊まってみたいなら、ウベダのパラドール(ハエン県)、修道院に興味があればアルマグロのパラドール(シウダ・レアル県)がおすすめです。

現在、スペインには90を超えるパラドールがあるので、選択肢はたくさんあります。大自然の中、素晴らしい展望ポイント、歴史地区の中心など、そのほとんどが非常に恵まれた場所に立地しています。パラドール自体が歴史モニュメントであるものも多数あります。歴史を間近に感じてみたいなら、パラドールでの宿泊は最適な選択肢です。

ウベダのパラドール
ハエン県(アンダルシア州)



プリッカー賞を通して スペインの現代建築を知る

プリッカー賞は建築界におけるノーベル賞とされるものです。建築家ラファエル・モネオが1996年にスペイン人として初めてプリッカー賞を受賞しました。彼の作品はスペインのいたるところで目にすることができます。国会議事堂やサン・セバスティアンのクルサール国際会議場、あるいはマドリードのアトーチャ駅の改装、ムルシアの市庁舎、バジャドリの科学博物館、メリダの国立古代ローマ美術館などが挙げられますが、これらは彼の作品の一部に過ぎません。

その他にスペインのプリッカー賞建築家としては、2017年に受賞した、建築スタジオ「RCRアーキテクテス」(ジローナ県)に所属するラファエル・アランダ、カルメ・ピジェンとラモン・ビラルタが挙げられます。彼らの作品のほとんどはカタルーニャにあります。バルセロナのアシャンプラ地区にあるサン・アントニ＝ジョアン・オリベール図書館やオロット(ジローナ県)にある陸上競技場とパビリオン2x1、あるいはレス・プレセス(ジローナ県)のピエドラ・トスカ公園などは、見逃せない作品です。

▼ クルサール国際会議場
サン・セバスティアン、ギプスコア県(バスク州)



気球に乗って 世界遺産都市を 空から見る

一生に一度は気球に乗ってみたいと言われますが、スペインなら気球に乗って、空から世界遺産都市を見ることができます。

セゴビアの上空から見下ろすローマの水道橋やアルカサル、その感動は言葉では表せません。アビラでは、遠くにグレドス山脈を眺めながら街を囲む城壁や大聖堂を見下ろすユニークな体験を楽しむことができます。空の上からトレドの様々なモニュメントや町に沿って蛇行するタホ川を眺める、あるいはサラマンカやサンティアゴ・デ・コンポステラの美しい街並みを上空から楽しんでみませんか。青い地中海に囲まれた真っ白なイビサ島の美しさを空から見ることできます。

これらの都市は、鳥たちの目線から眺めを楽しむことができる場所のほんの一部に過ぎません。



「ドン・キホーテ」 の舞台となった場所をめぐる



古典文学の世界的名作、「ドン・キホーテ」の世界を体験しましょう。このルートをたどれば、ミゲル・デ・セルバンテスが小説の中で描写した村々、古道、自然の風景などが見られます。

たくさんのお見どころがありますが、どこへ行くにしても、はずせない場所があります、それはカスティージャ・ラ・マンチャの州都、トレドです。この街は、物語に登場する様々な場所を見ることができただけでなく、ロス・ティンテス広場には作者が実際に住んでいた家もあります。

そして、もうひとつの絶対見逃せない場所が、ドン・キホーテが戦いを挑んだカンポ・デ・クリプターナ（シウダ・レアル県）の風車群です。ドン・キホーテが思いを寄せるドウルシネア姫の住むエル・トボソも是非、立ち寄りた場所のひとつです。また、独特の建築様式を持つマヨール広場やコラル・デ・コメディアスと呼ばれる中庭に造られたユニークな劇場をはじめとする歴史芸術モニュメントが豊富な町、アルマグロもはずせません。

オッサ・デ・モンティエル（アルバセーテ県）では、物語に登場する有名な2つのシーンの舞台となった場所、モンテシノス洞窟とロチャフリダ城を訪ねることができます。

▲ 風車
コンスエグラ

スペインで映画の 舞台となった場所を訪ねる



サン・ファン・デ・ガステルガチェ
ベルメオ、バスク州

「ゲーム・オブ・スローンズ」の舞台となった場所、あるいは、ジェームス・ボンド、インディアナ・ジョーンズやアナキン・スカイウォーカーがロケをした場所を訪ねてみませんか？スペインはよく映画の舞台に選ばれる国なので、多くの街で映画に関連する観光スポットがあります。あなたの旅の舞台はどこでしょう。

ソリア県のカラタニャソールは、オーソン・ウェルズがの彼の作品、「フォルスタッフ(真夜中のチャイム)」のロケ地として選んだ村でした。「ゲーム・オブ・スローンズ」のファンであれば、セビージャは絶対に訪ねなければならないでしょう。このシリーズのクライマックスシーンはこの街のアルカサルやイタリカ遺跡で撮影されました。シリーズ第6章でドラゴンたちが飛び交った荒涼とした風景は、バルデナス・レアレス自然公園(ナバーラ州)で見ることができます。

アルメリア県の砂漠地帯はクリント・イーストウッドなどのスターが登場する数多くの西部劇の舞台となっ

てきました(かつての映画スタジオを訪ねることもできます)。また、セビージャのスペイン広場は「スター・ウォーズ」のナブー王宮のロケ地として使われたので、女王アミダラもここを散策しました。

あのジェームス・ボンドもスペインの地を何度も訪れています。カディス(007ダイ・アナザー・デイ)やビルバオのグッゲンハイム美術館周辺(007ワールド・イズ・ノット・イナフ)などでボンドが活躍した場所をたどってみてはいかがでしょうか。ラス・フラグアス(カンタブリア州)では、映画「アザーズ」でニコル・キッドマンを恐怖に陥れた家のロケ地となったロス・オルニョス宮殿を訪ねみませんか。

フェルテベントゥーラ島(カナリア諸島)の月面を思わせる荒涼とした景色は、リドリー・スコット監督の「エクソダス:神と王」やロバート・ゼメキス監督の「マリアンヌ」などの映画の舞台となりました。また、この島の南部は「スター・ウォーズ」の新作のロケ地にも選ばれています。



のどかな環境で ヨガ体験

美しい自然に囲まれた屋外でヨガを体験すると同時に、自然を満喫し、美味しい料理を堪能して、心ゆくまでリラックスしましょう。ベストシーズンは春と夏です。スペインのほとんどの地域には、このような体験をできる「カサ・デ・レポソ」(安らぎの家)と呼ばれる施設があります。

マドリッドですべてを忘れてリラックスしたいなら、初心者から上級者までヨガ愛好家が集まる場所、レティーロ公園に行きましょう。また、首都マドリッド近郊の山地には、日常から離れて静謐な時間を過ごせる場所がたくさんあります。

また、スペイン各地のビーチも世界中のヨガ愛好家が集まる場所となっています。イビサ島のソル・デン・セラの入り江ではあらゆるレベルのヨガのレッスンに参加することができます。また、カニョス・デ・メカでは海を見ながらヨガを楽しめるほか、ビオダンサなどのアクティビティーも体験できます。アルプハーラスでは、美しい自然の中での瞑想と英語の練習を組み合わせたコースに参加することもできます。スペインではこのように、どこでも気軽にヨガを楽しむことができます。

芝居仕立てのガイ ディングツアー で歴史に浸る

ある町を訪ねる時、その町の過去の様子を知りたいと思いませんか？スペインでは様々な場所で、芝居仕立てのガイディングを提供するツアーやルートがあります。ロペ・デ・ベガ邸宅博物館が主催するガイディングツアーに参加して、マドリッドのバリオ・デ・レトラ(文学地区)を探訪し、黄金世紀の作家たちの足跡を訪ねてみませんか。アルカラ・デ・エナーレス(マドリッド州)では、スペイン文学を代表する作家、ドン・キホーテの作者であるミゲル・デ・セルバンテスを偲ぶことができます。バルセロナを訪ねるなら、ガウディやピカソをテーマにしたルートをめぐるといいでしょう。また、バッジヨ邸で催行している芝居仕立てのガイディングツアーもおすすめです。

アンダルシアを旅したら、フェデリコ・ガルシア・ロルカの足跡をたどったり、あるいはセビージャを舞台としたオペラゆかりの場所を訪ねたりしてはいかがでしょうか。世界遺産都市にも同様の選択肢がたくさんあります。カセレスではイサベル女王と一緒に素晴らしい歴史地区を訪ね、セゴビアではフグラレスと呼ばれる中世の吟遊詩人に伴われ、詩を聞きながら街を散策してみませんか。



スペインの最も美しい 村々を訪ねる

スペインには、**ロンダ(マラガ県)**に代表されるような美しい村がたくさんあります。ロンダでは、高さ100メートルもある橋、プエンテ・ヌエボから遙かかなたの山脈まで見渡せる素晴らしいパノラマを楽しむもよし、国の文化財に指定されている旧市街を散策するのもいいですね。**トゥルヒージョ(カセレス県)**では趣のあるマヨール広場へと続く石畳の細い路地に魅せられることでしょう。**カダケス(ジローナ県)**には、地中海に面して建つダリの家博物館があなたを待っています。カダケスはコスタ・ブラバで最も美しい村のひとつです。カップ・デ・クレウス自然公園をサイクリングで回り、美しい入り江の景色を堪能してはいかがでしょうか。

ガリシアを旅するなら、ガリシアの典型的な漁村で、今もその伝統を良く残している**コンバエロ(ポンテベドラ県)**には是非、立ち寄ってください。**アルバラシン(テルエル県)**を訪ねて、城壁に囲まれた町の中を歩くと、まるで過去にタイムスリップしたように感じるでしょう。かつて、タイファ王国のひとつの首都であったこの小さな町には、イスラム統治時代や中世の偲ばせるものがあちこちに残っています。

自然が好きなひとには、**テヘダ(グラン・カナリア島)**がおすすめです。島で最も高い場所にあるこの村には、グラン・カナリア島のシンボルとも言える、自然が創ったモニュメント、ロケ・ヌブロがあります。昼はトレッキング、夜は天体観測を楽しむのに最適な場所です。

これらはほんの一部に過ぎません。他にも、**バルデモッサ(バレアレス諸島)**、**サンティジャーナ・デル・マル(カンタブリア州)**、**アルマグロ(カスティージャ・ラ・マンチャ州)**、**オンドリビア(バスク州)**、**ペドラサ(カスティージャ・イ・レオン州)**など魅力あふれる村がたくさんあります。

「スペインで最も美しい村々」協会のホームページ(www.los-pueblosmasbonitosdeespana.org)ではより詳細な情報を提供しています。





アンダルシアンホースの 踊りを観に行きましょう

▲ 王立アンダルシア馬術学校
ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ

アンダルシアの馬たちはどのように踊るのでしょうか。その踊りは芸術です。ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ(カディス県)にある王立アンダルシア馬術学校を訪ねて、彼らのダンスを見てみませんか。「アンダルシアの馬たちはいかに踊るのか」と題されたショーに参加すれば、馬たちが動き、ステップを踏み、スペインを代表するよく知られるメロディーに合わせて見事に踊る様を目の当たりにして、言葉を失うことでしょう。歴史、芸術、美、すべてを兼ね備えたこのスペクタクルは、溢れる色彩と鮮やかな技とで老若男女を問わず観る者すべてを圧倒します。

王立馬術学校を訪ねて、3000年の歴史を持つスペイン純血種の馬、アンダルシアンを間近で見てください。ここでは、騎手たちがピカデロ(調馬用馬場)で調教する様子を毎日見ることができるほか、馬たちが休息する厩舎、走行用の馬場、訓練用馬場などを見学することができます。時間が許せば、歴史ある馬車や馬具などのコレクションを収蔵する馬車博物館や馬術を分かりやすく、楽しく解説するインタラクティブなスペースとなっている馬術博物館にも是非、立ち寄ってください。

サラマンカ、 文化とナイトライフを満喫できる街

サラマンカではなんでもできます。ユネスコ世界遺産に登録されている旧市街を散策する、バルや居酒屋をはしごしてタパスをつまむ、あるいは歴史ある大学都市の雰囲気を楽しむ、この街ではすべてが可能です。この街で見逃せないモニュメントといえば、新大聖堂、旧大聖堂、貝の家、クレレシア、ラス・ドゥエニャス修道院やマヨール広場が挙げられます。

サラマンカはまた、週日であれ週末であれ、いつも人々の賑わいに満ちています。

もっと静かなナイトライフを過ごしたいなら、「大聖堂が眠る時」と題するガイドングツアーに参加してはいかがでしょうか。1時間にわたるこのツアーは、いくつもの場所で歴史的文献を見て回り、音と光の演出も楽しめます。ツアーの最後は鐘楼の上まで登り、各自が好きな形で鐘をついて終わります。ここは、イルミネーションに彩られたサラマンカの街を見下ろすことのできる最高のバルコニーでもあります。





	MINISTERIO DE INDUSTRIA, COMERCIO Y TURISMO	TURESPAÑA
--	---	-----------

@spain

@spain

Spain.info

/spain